

経済産業省で取り組んでいる 風評被害対策について

平成27年6月
経済産業省

経済産業省で取り組んでいる風評被害対策

1. 産業界への要請等
 - ① 全般
 - ② 流通関係
2. 国際会議・展示会等を活用した福島県産品等のPR
3. 経済産業省での福島県産品等の販売・PR
4. 工業製品等についての風評被害対策

産業界への要請等 ①全般

- 経済界(経団連、日商)に対して、企業マルシェの拡大、社内食堂での福島県産農産物の利用、贈答品・お中元・お歳暮への被災地産品の活用等を要請。
- 平成27年4月より、国道6号線等の迂回問題をはじめとしたリスコミや風評被害対策の観点から、経済団体や業界団体に対する説明を開始。

平成25年

- 6月28日 日本経済団体連合会及び日本商工会議所に対し、農林水産省・経済産業省連名で被災地産品の消費拡大について要請(文書発出)。

…これまで以上に、会員企業の社内食堂で被災地産品を優先的に利用いただくなど、御尽力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年

- 2月21日 経団連1%クラブにおいて、地域経済産業審議官より、企業マルシェの開催、被災地産品の利用促進、復興に必要な人材の派遣への協力を要請。
- 6月10・16日 日本商工会議所及び日本経済団体連合会に対し、地域経済産業審議官より、県産品の消費拡大(企業マルシェの開催、社員食堂での県産農産物の利用、贈答品やお中元・お歳暮商品への活用、日本橋ふくしま館(福島県アンテナショップ)の活用等)について要請。

(参考)根本復興大臣からの要請(平成26年7月24日)

日本経済団体連合会、日本商工会議所に対し、根本復興大臣(当時)より、原子力災害による風評被害の払拭に向けた被災地産品の活用・販売として、贈答品、社員食堂での利用、社内マルシェの開催等の一層の推進を要請。

(参考)企業マルシェの開催状況

福島県が出展した企業マルシェの件数

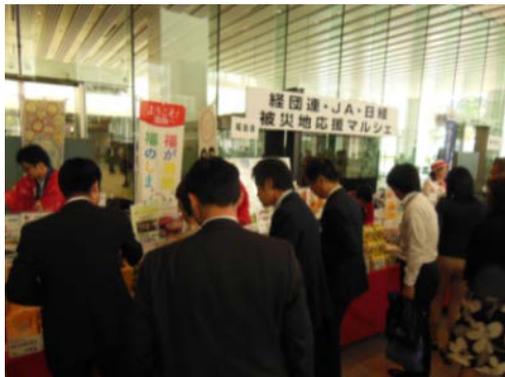
平成25年度 43件

平成26年度 91件

※日本橋ふくしま館(MIDETTE)、県東京事務所が関与して開催された件数(福島県東京事務所調べ)

最近の企業マルシェの例

○経団連・JA・日経新聞
「福島・宮城・岩手産品販売マルシェ」
開催日:平成26年10月3日
場所:経団連会館(大手町)、JAビル



○東京ガス都市開発
(後援:東京商工会議所)
「新宿パークタワー福島復興マルシェ」
開催日:平成26年10月14～15日
場所:新宿パークタワー1階



○三井不動産
(後援:復興庁宮城復興局)
「霞マルシェ2014(宮城、福島)」
開催日:平成26年10月20～24日
場所:霞ヶ関ビル



産業界への要請等 ②流通関係

- 流通業界に対し、経済産業副大臣名で、被災地産品（農産物、水産物等）の積極的な仕入れ、特産品フェア等を通じた販売促進を要請。
- 流通事業者と福島県・JA等の個別事例に応じた商談が可能となる環境を整備。

流通業界への要請（25年9月、26年10月）

・流通業界10団体に対して、経産副大臣名で要請。

－ 26年10月の要請文

・・・全国に販売網、拠点を有する流通業の方々に、改めて被災地産品の消費拡大に向けた取組をお願いしたいと考えております。・・・これまで以上に、積極的に農産物、水産物等被災地産品の仕入れ、特産品フェア等を通じた販売促進にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

福島県・JA等と流通事業者の個別商談の環境整備（27年4月）

・広域に販売網・拠点を有する流通事業者に対し、被災地産品（農産物）の消費拡大に向けた取組について、福島県・JA等が個別に商談できるよう経産省・農水省・復興庁が連携して環境整備。

福島県・JA等

流通事業者

個別に商談できるように環境整備

経済産業省
農林水産省
復興庁

国際会議・展示会等を活用した福島県産品等のPR

○ 経産省が関与する国際会議や展示会等の場において福島県産品等のPRを実施。

最近の例

OECD知識経済に関する グローバルフォーラム

日程：26年10月2日～3日
場所：ホテルオークラ

- ・福島県、宮城県、岩手県の観光PRチラシ配布・ポスター掲示、福島県の工芸品展示
- ・レセプション会場に銘酒コーナーを設け、福島県、宮城県、岩手県の地酒を提供。



IEC年次総会東京大会

日程：26年11月4日～15日
場所：東京国際フォーラム

- ・レセプションパーティーの銘酒コーナーで、福島県、宮城県、岩手県の地酒を提供。
- ※計22種のうち、福島県の酒10種。



スーパーマーケット・トレードショー2015

日程：27年2月10日～12日
場所：東京ビッグサイト

- ・福島県のブースを設置し、福島県産品をPR
- ・福島県内の中小企業者70者が出展



経済産業省での福島県産品等の販売・PR

- 経済産業省において、福島県産品の販売や福島のPRを行う「福島産業復興フェア」を開催。他省庁にもフェアの開催を要請。
- 経済産業省内の食堂やコンビニで被災地産品メニュー・福島県産品を提供・販売。

福島産業復興フェア

- ・福島県産品の販売(果物、加工食品、菓子、地酒等)
- ・福島観光パンフレットの配布
- ・福島復興支援クレジットカード(Fukurumカード)の紹介 等

直近の開催: 第4回(27年1月27日)
・いちご、あんぽ柿、米等の福島産品
約120種類を販売。売上約84万円。



食堂での被災地メニュー提供

- ・経済産業省の食堂において、福島等の被災地産品を使用した期間限定メニューをで提供。

これまでの提供食材の例

- ・試験操業で漁獲されたタコ、シラス
- ・被災地産の米 ・川俣シャモ
- ・カレー 等



コンビニでの福島産品販売

- ・経済産業省内のコンビニエンスストアにおいて、福島県の特産品(加工食品、菓子、飲料、銘酒等)を販売。



工業製品等についての風評被害対策

- 工業製品等についての風評被害対策として、放射線量測定や販路開拓のためのビジネスマッチング等を実施。

放射線量測定

- ・福島県を中心とした企業等からの要請に応じて、専門家チームを派遣
- ・福島県内の事務所において、工業製品等の放射線量測定等に係る指導・助言を実施

－ これまで(平成23年度～)の累計実績 ※平成26年度末時点

- ・相談件数 累計 約550件
- ・測定実施件数 累計 約5650件



検査の様子



代表的なサーベイメーター

工業製品等のビジネスマッチング

- ・被災地域における風評を払拭し、被災地域の持続的な復興・振興や地域経済の活性化を図るため、国内外を問わず被災地域産品の販路開拓(ビジネスマッチング、商品開発)を支援

－ これまで(平成23年度～)の累計実績 ※平成26年度末時点

- ・商談成約件数 累計 約1,400件
- ・商談成約額 累計 約36億円

(支援事例) REIFふくしま

- ・再生可能エネルギー関連産業でビジネスに取り組む企業等に、技術・情報の発信、商談・交流の場を提供する展示会を開催。



会場の様子

(参考)「日本橋ふくしま館(MIDETTE)」について

- 一日も早い風評の払拭と福島県のイメージ回復を図るため、平成26年4月12日、東京・日本橋に福島県アンテナショップ「日本橋ふくしま館」(愛称:MIDETTE(ミデッテ))がオープン。
- 福島県の日本酒や果物、工芸品等の特産品の魅力をはじめ、季節ごとの観光情報、食の安全・安心を確保する取組など、復興に向かう「ふくしまの今」を発信。

施設の概要

所在地: 東京都中央区日本橋室町
4-3-16 柳屋太洋ビル1階

営業時間: (平日) 11:00~20:00
(休日) 11:00~18:00

休館日: 年末年始

面積: 約450㎡(約137坪)

URL: <http://midette.com/>

設置・運営: 福島県と福島県商工会連合会が連携して設置。
運営は、公益財団法人福島県観光物産交流協会。

食品(米・麺類・日本酒・加工食品): 約2,100品目

工芸品(会津塗、起き上がり小法師等): 約400品目

飲食コーナー: 福島県の郷土料理(わっぱめし等)やB級グルメ
(浪江焼きそば)等を事業者が交代で提供

催事コーナー: 旬の果実や特産品(馬刺し等)の販売

実演コーナー: 薄皮まんじゅうの実演販売 等

来館者数: 約38万人(平成27年3月末時点)



外観

売れ筋商品 (年間売れ筋トップ5)

1位 ままどおる(5個)

2位 揚げソフトかまぼこ

3位 飲み比べセット

4位 国産馬刺(モモ90g)

5位 家伝ゆべし(6個)



ままだおる

揚げソフトかまぼこ



飲み比べ
セット

